

Q001 尊厳 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、人間の尊厳の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 判断能力に不安がある場合でも、本人の意思形成・表明・実現を支える支援。
- B. 本人が必要な情報を得たうえで、自分の生活や支援方法を選ぶこと。
- C. 一人ひとりをかけがえのない存在として扱い、年齢・障害・認知機能にかかわらず人格を尊重する考え方。
- D. 本人が持つ力を活かし、できることを増やす、または維持する支援。

答え・解説

正答：C. 一人ひとりをかけがえのない存在として扱い、年齢・障害・認知機能にかかわらず人格を尊重する考え方。

超簡単な解説：人間の尊厳は、一人ひとりをかけがえのない存在として扱い、年齢・障害・認知機能にかかわらず人格を尊重する考え方。

Q002 自立 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、自己決定を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 排泄介助ではカーテンやドアを閉め、必要な範囲だけ露出する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 選択肢を具体的に示し、本人が選べる時間を確保する。

答え・解説

正答：D. 選択肢を具体的に示し、本人が選べる時間を確保する。

超簡単な解説：自己決定では、選択肢を具体的に示し、本人が選べる時間を確保する。この対応が適切である。

Q003 自立 | 4択 | 標準

問題

介護実践で自立支援を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意思を推定・確認する工夫により、権利侵害を防げるため。
- B. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。
- C. すべてを代行すると廃用や意欲低下につながるため。
- D. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。

答え・解説

正答：C. すべてを代行すると廃用や意欲低下につながるため。

超簡単な解説：自立支援を重視する理由は、すべてを代行すると廃用や意欲低下につながるため。

Q004 権利 | 4択 | 応用

問題

Dさんはノーマライゼーションに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、本人が地域活動に参加したい希望を、危険を理由に一律で止めず方法を検討する。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、本人が地域活動に参加したい希望を、危険を理由に一律で止めず方法を検討する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ノーマライゼーションの観点から本人中心に対応する。

Q005 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

アドボカシーの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人が言い出しにくい希望を確認し、会議で本人の意向として共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：アドボカシーでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 倫理 | 4択 | 標準

問題

プライバシーの保護に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 倫理 | 4択 | 基礎

問題

インフォームド・コンセントに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 自立 | 4択 | 応用

問題

エンパワメントを支援計画に反映する際の方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、虐待防止の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 身体的・心理的・性的・経済的虐待や介護等放棄を防ぎ、早期に発見し対応すること。
- B. 判断能力に不安がある場合でも、本人の意思形成・表明・実現を支える支援。
- C. 本人が必要な情報を得たうえで、自分の生活や支援方法を選ぶこと。
- D. 支援や処置の内容、目的、リスクを説明し、本人の同意を得ること。

答え・解説

正答：A. 身体的・心理的・性的・経済的虐待や介護等放棄を防ぎ、早期に発見し対応すること。

超簡単な解説：虐待防止は、身体的・心理的・性的・経済的虐待や介護等放棄を防ぎ、早期に発見し対応すること。

Q010 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、身体拘束の原則禁止を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不自然なあざや怯えがある場合は記録し、施設内の手順に沿って報告する。
- B. 時間がかかっても、本人ができる動作は見守りながら行ってもらう。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 転倒予防を理由にすぐ拘束せず、環境調整や見守り方法を検討する。

答え・解説

正答：D. 転倒予防を理由にすぐ拘束せず、環境調整や見守り方法を検討する。

超簡単な解説：身体拘束の原則禁止では、転倒予防を理由にすぐ拘束せず、環境調整や見守り方法を検討する。この対応が適切である。

Q011 生活の質 | 4択 | 標準

問題

介護実践でQOLを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意思を推定・確認する工夫により、権利侵害を防げるため。
- B. 介護の目標は単なる介助量の削減ではなく、その人らしい生活の実現だから。
- C. 羞恥心への配慮は尊厳の保持に直結するため。
- D. 生活の場を施設内だけに閉じ込めず、社会参加を支えるため。

答え・解説

正答：B. 介護の目標は単なる介助量の削減ではなく、その人らしい生活の実現だから。

超簡単な解説：QOLを重視する理由は、介護の目標は単なる介助量の削減ではなく、その人らしい生活の実現だから。

Q012 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

Fさんは意思決定支援に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、写真や実物を使って選択肢を示し、本人の表情や反応も確認する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、写真や実物を使って選択肢を示し、本人の表情や反応も確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、意思決定支援の観点から本人中心に対応する。

Q013 尊厳 | 4択 | 標準

問題

人間の尊厳に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q014 自立 | 4択 | 基礎

問題

自己決定に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q015 自立 | 4択 | 応用

問題

自立支援を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q016 権利 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ノーマライゼーションの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 障害や要介護状態があっても、地域で普通の暮らしを送れる社会を目指す考え方。
- B. 生命の維持だけでなく、本人が望む生活の満足度やその人らしさを含む生活の質。
- C. 支援や処置の内容、目的、リスクを説明し、本人の同意を得ること。
- D. 本人が持つ力を活かし、できることを増やす、または維持する支援。

答え・解説

正答：A. 障害や要介護状態があっても、地域で普通の暮らしを送れる社会を目指す考え方。

超簡単な解説：ノーマライゼーションは、障害や要介護状態があっても、地域で普通の暮らしを送れる社会を目指す考え方。

Q017 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、アドボカシーを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 時間がかかっても、本人ができる動作は見守りながら行ってもらう。
- C. 本人が言い出しにくい希望を確認し、会議で本人の意向として共有する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：C. 本人が言い出しにくい希望を確認し、会議で本人の意向として共有する。

超簡単な解説：アドボカシーでは、本人が言い出しにくい希望を確認し、会議で本人の意向として共有する。この対応が適切である。

Q018 倫理 | 4択 | 標準

問題

介護実践でプライバシーの保護を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心への配慮は尊厳の保持に直結するため。
- B. 身体拘束は尊厳を損ない、心身機能の低下を招くおそれがあるため。
- C. すべてを代行すると廃用や意欲低下につながるため。
- D. 利用者を支援の受け手だけにせず、主体者として関われるようにするため。

答え・解説

正答：A. 羞恥心への配慮は尊厳の保持に直結するため。

超簡単な解説：プライバシーの保護を重視する理由は、羞恥心への配慮は尊厳の保持に直結するため。

Q019 倫理 | 4択 | 応用

問題

Aさんはインフォームド・コンセントに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、介助前に目的と方法を短く説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、介助前に目的と方法を短く説明し、同意を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、インフォームド・コンセントの観点から本人中心に対応する。

Q020 自立 | 4択 | 標準

問題

エンパワメントの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 失敗だけでなく、できている動作や工夫を本人と確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：エンパワメントでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

虐待防止に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

身体拘束の原則禁止に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 生活の質 | 4択 | 応用

問題

QOLを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、意思決定支援の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 判断能力に不安がある場合でも、本人の意思形成・表明・実現を支える支援。
- B. 生命の維持だけでなく、本人が望む生活の満足度やその人らしさを含む生活の質。
- C. 本人が意思を表明しにくい状況で、その権利や意思が守られるよう代弁・支援すること。
- D. 本人が持つ力を活かし、できることを増やす、または維持する支援。

答え・解説

正答：A. 判断能力に不安がある場合でも、本人の意思形成・表明・実現を支える支援。

超簡単な解説：意思決定支援は、判断能力に不安がある場合でも、本人の意思形成・表明・実現を支える支援。

Q025 尊厳 | 4択 | 標準

問題

介護実践で人間の尊厳を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 利用者を支援の受け手だけにせず、主体者として関われるようにするため。
- B. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。
- C. 介護は生活の細部に関わるため、尊厳への配慮が信頼関係と安全につながる。
- D. 虐待は尊厳と権利を侵害し、早期対応が被害拡大を防ぐため。

答え・解説

正答：C. 介護は生活の細部に関わるため、尊厳への配慮が信頼関係と安全につながる。

超簡単な解説：人間の尊厳を重視する理由は、介護は生活の細部に関わるため、尊厳への配慮が信頼関係と安全につながる。

Q026 自立 | 4択 | 応用

問題

Bさんは自己決定に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、選択肢を具体的に示し、本人が選べる時間を確保する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、選択肢を具体的に示し、本人が選べる時間を確保する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、自己決定の観点から本人中心に対応する。

Q027 自立 | 4択 | 標準

問題

自立支援の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 時間がかかっても、本人ができる動作は見守りながら行ってもらう。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：自立支援では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q028 権利 | 4択 | 標準

問題

ノーマライゼーションに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q029 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

アドボカシーに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q030 倫理 | 4択 | 応用

問題

プライバシーの保護を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q031 倫理 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、インフォームド・コンセントの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 本人が意思を表明しにくい状況で、その権利や意思が守られるよう代弁・支援すること。
- B. 判断能力に不安がある場合でも、本人の意思形成・表明・実現を支える支援。
- C. 支援や処置の内容、目的、リスクを説明し、本人の同意を得ること。
- D. 本人の行動を不必要に制限せず、やむを得ない場合も切迫性・非代替性・一時性を検討する考え方。

答え・解説

正答：C. 支援や処置の内容、目的、リスクを説明し、本人の同意を得ること。

超簡単な解説：インフォームド・コンセントは、支援や処置の内容、目的、リスクを説明し、本人の同意を得ること。

Q032 自立 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、エンパワメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 選択肢を具体的に示し、本人が選べる時間を確保する。
- B. 不自然なあざや怯えがある場合は記録し、施設内の手順に沿って報告する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 失敗だけでなく、できている動作や工夫を本人と確認する。

答え・解説

正答：D. 失敗だけでなく、できている動作や工夫を本人と確認する。

超簡単な解説：エンパワメントでは、失敗だけでなく、できている動作や工夫を本人と確認する。この対応が適切である。

Q033 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

介護実践で虐待防止を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. すべてを代行すると廃用や意欲低下につながるため。
- B. 本人の意思を推定・確認する工夫により、権利侵害を防げるため。
- C. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。
- D. 虐待は尊厳と権利を侵害し、早期対応が被害拡大を防ぐため。

答え・解説

正答：D. 虐待は尊厳と権利を侵害し、早期対応が被害拡大を防ぐため。

超簡単な解説：虐待防止を重視する理由は、虐待は尊厳と権利を侵害し、早期対応が被害拡大を防ぐため。

Q034 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

Dさんは身体拘束の原則禁止に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、転倒予防を理由にすぐ拘束せず、環境調整や見守り方法を検討する。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、転倒予防を理由にすぐ拘束せず、環境調整や見守り方法を検討する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、身体拘束の原則禁止の観点から本人中心に対応する。

Q035 生活の質 | 4択 | 標準

問題

QOLの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 食事・入浴・趣味など、本人が大切にしている生活習慣を支援計画に反映する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：QOLでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q036 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

意思決定支援に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q037 尊厳 | 4択 | 応用

問題

人間の尊厳を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q038 自立 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、自己決定の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 本人が持つ力を活かし、できることを増やす、または維持する支援。
- B. 一人ひとりをかけがえのない存在として扱い、年齢・障害・認知機能にかかわらず人格を尊重する考え方。
- C. 本人が意思を表明しにくい状況で、その権利や意思が守られるよう代弁・支援すること。
- D. 本人が必要な情報を得たうえで、自分の生活や支援方法を選ぶこと。

答え・解説

正答：D. 本人が必要な情報を得たうえで、自分の生活や支援方法を選ぶこと。

超簡単な解説：自己決定は、本人が必要な情報を得たうえで、自分の生活や支援方法を選ぶこと。

Q039 自立 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、自立支援を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 時間がかかっても、本人ができる動作は見守りながら行ってもらう。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 写真や実物を使って選択肢を示し、本人の表情や反応も確認する。

答え・解説

正答：B. 時間がかかっても、本人ができる動作は見守りながら行ってもらう。

超簡単な解説：自立支援では、時間がかかっても、本人ができる動作は見守りながら行ってもらう。この対応が適切である。

Q040 権利 | 4択 | 標準

問題

介護実践でノーマライゼーションを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 生活の場を施設内だけに閉じ込めず、社会参加を支えるため。
- B. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- C. 虐待は尊厳と権利を侵害し、早期対応が被害拡大を防ぐため。
- D. すべてを代行すると廃用や意欲低下につながるため。

答え・解説

正答：A. 生活の場を施設内だけに閉じ込めず、社会参加を支えるため。

超簡単な解説：ノーマライゼーションを重視する理由は、生活の場を施設内だけに閉じ込めず、社会参加を支えるため。

Q041 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

Eさんはアドボカシーに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、本人が言い出しにくい希望を確認し、会議で本人の意向として共有する。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、本人が言い出しにくい希望を確認し、会議で本人の意向として共有する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、アドボカシーの観点から本人中心に対応する。

Q042 倫理 | 4択 | 標準

問題

プライバシーの保護の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 排泄介助ではカーテンやドアを閉め、必要な範囲だけ露出する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：プライバシーの保護では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q043 倫理 | 4択 | 標準

問題

インフォームド・コンセントに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q044 自立 | 4択 | 基礎

問題

エンパワメントに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q045 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

虐待防止を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q046 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、身体拘束の原則禁止の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一人ひとりをかけがえのない存在として扱い、年齢・障害・認知機能にかかわらず人格を尊重する考え方。
- B. 判断能力に不安がある場合でも、本人の意思形成・表明・実現を支える支援。
- C. 障害や要介護状態があっても、地域で普通の暮らしを送れる社会を目指す考え方。
- D. 本人の行動を不必要に制限せず、やむを得ない場合も切迫性・非代替性・一時性を検討する考え方。

答え・解説

正答：D. 本人の行動を不必要に制限せず、やむを得ない場合も切迫性・非代替性・一時性を検討する考え方。

超簡単な解説：身体拘束の原則禁止は、本人の行動を不必要に制限せず、やむを得ない場合も切迫性・非代替性・一時性を検討する考え方。

Q047 生活の質 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、QOLを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 選択肢を具体的に示し、本人が選べる時間を確保する。
- C. 食事・入浴・趣味など、本人が大切にしている生活習慣を支援計画に反映する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：C. 食事・入浴・趣味など、本人が大切にしている生活習慣を支援計画に反映する。

超簡単な解説：QOLでは、食事・入浴・趣味など、本人が大切にしている生活習慣を支援計画に反映する。この対応が適切である。

Q048 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

介護実践で意思決定支援を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意思を支援の中心に置くことで、主体的な生活を守る。
- B. 本人の意思を推定・確認する工夫により、権利侵害を防げるため。
- C. 身体拘束は尊厳を損ない、心身機能の低下を招くおそれがあるため。
- D. 本人が理解し納得して関わることが安全と信頼につながるため。

答え・解説

正答：B. 本人の意思を推定・確認する工夫により、権利侵害を防げるため。

超簡単な解説：意思決定支援を重視する理由は、本人の意思を推定・確認する工夫により、権利侵害を防げるため。

Q049 尊厳 | 4択 | 標準

問題

人間の尊厳の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人を名前で呼び、説明と同意を得てから支援を始める。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：人間の尊厳では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q050 自立 | 4択 | 標準

問題

自己決定に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q051 自立 | 4択 | 基礎

問題

自立支援に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q052 権利 | 4択 | 応用

問題

ノーマライゼーションを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q053 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、アドボカシーの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 本人が必要な情報を得たうえで、自分の生活や支援方法を選ぶこと。
- B. 障害や要介護状態があっても、地域で普通の暮らしを送れる社会を目指す考え方。
- C. 本人が意思を表明しにくい状況で、その権利や意思が守られるよう代弁・支援すること。
- D. 支援や処置の内容、目的、リスクを説明し、本人の同意を得ること。

答え・解説

正答：C. 本人が意思を表明しにくい状況で、その権利や意思が守られるよう代弁・支援すること。

超簡単な解説：アドボカシーは、本人が意思を表明しにくい状況で、その権利や意思が守られるよう代弁・支援すること。

Q054 倫理 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、プライバシーの保護を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 排泄介助ではカーテンやドアを閉め、必要な範囲だけ露出する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 不自然なあざや怯えがある場合は記録し、施設内の手順に沿って報告する。

答え・解説

正答：B. 排泄介助ではカーテンやドアを閉め、必要な範囲だけ露出する。

超簡単な解説：プライバシーの保護では、排泄介助ではカーテンやドアを閉め、必要な範囲だけ露出する。この対応が適切である。

Q055 倫理 | 4択 | 標準

問題

介護実践でインフォームド・コンセントを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 身体拘束は尊厳を損ない、心身機能の低下を招くおそれがあるため。
- C. 利用者を支援の受け手だけにせず、主体者として関わられるようにするため。
- D. 本人が理解し納得して関わることが安全と信頼につながるため。

答え・解説

正答：D. 本人が理解し納得して関わることが安全と信頼につながるため。

超簡単な解説：インフォームド・コンセントを重視する理由は、本人が理解し納得して関わることが安全と信頼につながるため。

Q056 自立 | 4択 | 応用

問題

Bさんはエンパワメントに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、失敗だけでなく、できている動作や工夫を本人と確認する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、失敗だけでなく、できている動作や工夫を本人と確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、エンパワメントの観点から本人中心に対応する。

Q057 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

虐待防止の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 不自然なあざや怯えがある場合は記録し、施設内の手順に沿って報告する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：虐待防止では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q058 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

身体拘束の原則禁止に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q059 生活の質 | 4択 | 基礎

問題

QOLに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q060 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

意思決定支援を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。